

Elazzio

SEAT COVER



DAIHATSU
TANTO
SUBARU
CHIFFON

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

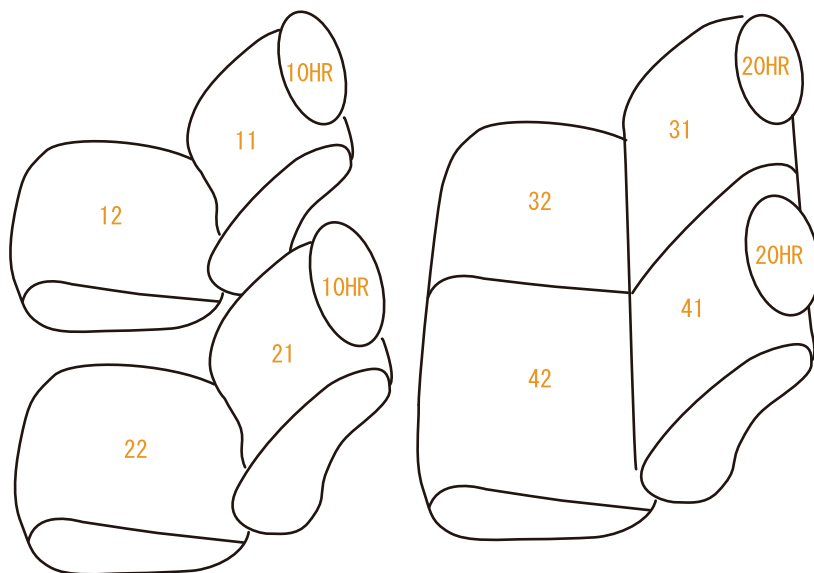
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P~4P
1 列目運転席座面の装着方法	…> 5P~8P
1 列目運転席背もたれの装着方法	…> 9P~10P
1 列目助手席座面の装着方法	…> 11P~14P
1 列目助手席背もたれの装着方法	…> 15P~22P
2 列目座面装着方法	…> 23P~26P
2 列目背もたれの装着方法	…> 27P~28P
ヘッドレストの装着方法	…> 29P~30P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 31P~32P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ (ソケット : 10mm)
- ② プラスドライバー
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



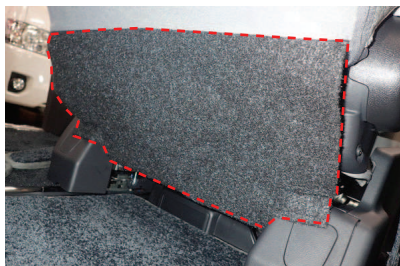
株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目運転席座面の装着方法



- 1 シート背面下の図の点線で囲んでいる生地
の固定を外します。



- 4 シートの背面から1番の生地を引くと図の
ように生地が出てきます。しかし生地の間
隙間に配線が通っているため完全には出てき
ません。この状態にして次の作業に移りま
す。



- 2 生地はシート裏で固定されています。
シート裏の金属部分に引っ掛けられている
フックを外します。



- 5 シート外側のリクライニングレバーの下に
あるネジを、ドライバーを使用して外しま
す。



- 3 フックを外すとゴムが2本金属部分に引っ
掛かっているのが見えてきます。ゴムを金
属部分から外します。



- 6 ネジを外してプラスチックパーツを斜め上
に引くと、図のようにシートからプラスチ
ックパーツが少し浮くように出てきます。
この状態にして次の作業に移ります。



7 シート内側のシートの軸になる部分の下側にあるネジを、ドライバーを使用して外します。



10 プラスチックパーツ内側の純正のシート表皮を、図のようにめくりず。この状態でシートカバーの装着を行っていきます。



8 ネジが留まっていたプラスチックパーツを外します。図のシートの表面側から見た位置にプラスチックパーツのツメがあります。ツメの位置を意識して上へめくり上げるようにして外していきます。



11 カバーをシートのラインに合わせて前側から後ろ側へ向けてかぶせます。シートの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



9 プラスチックパーツは図のように外れます。



12 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 13 12番で入れ込んだ生地を、シートの背面から引き出します。



- 14 カバー外側に付いているマジックテープのベルトとカバーの端を、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



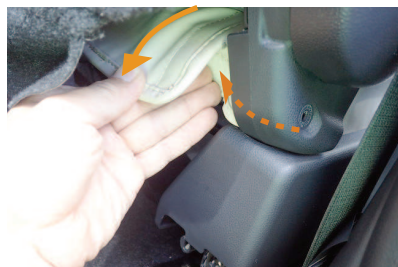
- 15 14番の作業でマジックテープが図のようにプラスチックパーツの下側から出てきた場合は、これはマジックテープの引き出す位置を間違っているので注意して下さい。



- 16 14番で入れ込んだマジックテープのベルトを、シート裏の金属フレームの隙間から引き出します。
引き出したマジックテープのベルトをシート裏の金属部分に巻き付けて折り返し、マジックテープ先端のオスの部分をメス部分に貼り付けて固定します。



- 17 6番でネジを外してできた隙間に生地を通します。
ネジ穴の位置にカバーの加工穴の位置を合わせます。



- 18 隙間に通した生地と13番で引き出した生地の手端を、マジックテープで固定します。



- 19 シートの内側です。
カバー側面の固定部材の付いた生地を、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



- 22 シートの前側から入れ込んだベルトを引き出して、カバーの前側に付いているバックルに通します。



- 20 カバー内側の後ろ側の生地をシートの後ろ側へ引き出して、13番で引き出した生地とマジックテープで固定します。この際、カバー内側の生地にある加工穴と7番で外したネジのネジ穴部分、9番で外したプラスチックパーツ裏側の突起部分の位置を合わせるようにして下さい。



- 23 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端に通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり切れたりするので、注意して下さい。



- 21 13番で引き出した生地の端に付いているベルトを、シートの裏から前側へ入れ込みます。



- 24 6番、9番で外したプラスチックパーツを生地を挟み込み元通りに固定します。カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。

Step2

…> 1列目運転席背もたれの装着方法



- 1 カバー側面のファスナーを開けた状態にして、シートのラインに合わせてカバーをシート全体にかぶせます。



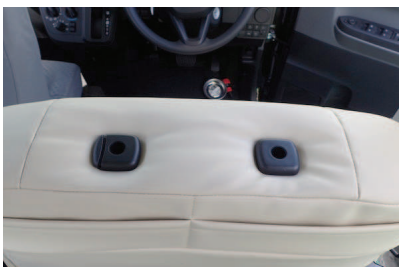
- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。入れ込む生地にはフックが付いています。フックで座面カバーを傷付けないように、注意して下さい。



- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 5 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。
※シートの背面にはサイドエアバッグの配線などがあるので、配線などに注意して作業を行って下さい。



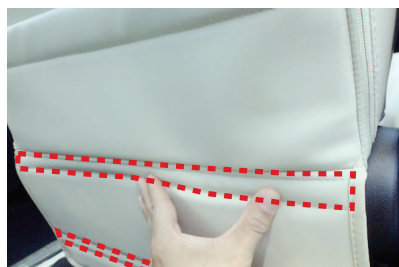
- 3 生地の伸びを利用して台座を取り出します。
※革を使用したカバーでは、革は伸びないため加工穴が裂けてくる場合があります。生地が裂けてきても慎重に作業を行っていただければ台座の幅以上に裂け目は広がりません。作業は慎重に行ってください。



- 6 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を5番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。



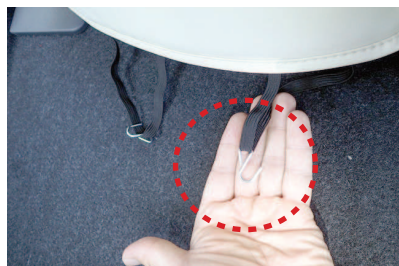
7 カバーの両側面に付いているファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



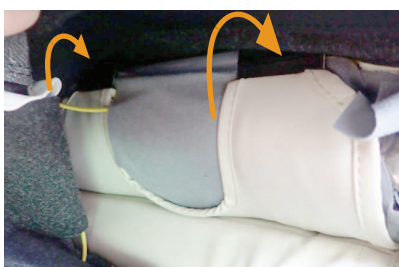
10 5ページ4番で外した生地を元通りに固定します。固定した生地に、カバー裏側に付いている2本のマジックテープを、直接貼り付けて固定します。



8 シート背面の5ページ4番で固定を外した生地を少々強引にめくり上げた図です。図の矢印の辺りに純正シート地を固定しているフックがあります。



11 カバーの背面下にゴムが2本付いています。ゴムに付属の金属フックを付け、シート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



9 5番で引き出した生地に付いているフックを、8番の純正シート地を固定しているフックの上から引っ掛けて固定します。



12 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。

Step 3

…> 1列目助手席座面の装着方法



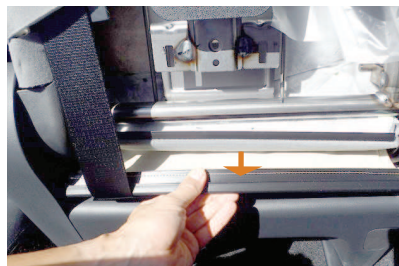
- 1 シート背面から出ているシートベルトの内側に、シート表皮を固定している生地を引っ張るつまみのような生地があります。その生地を掴み引っ張ります。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 1番の生地を引っ張ると図のようにシート表皮を固定していたフックが外れます。この状態からカバーの装着を行っていきます。



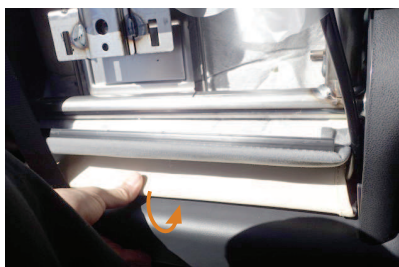
- 5 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



- 3 カバーをシートのラインに合わせて前側から後ろ側へ向けてかぶせます。シートの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



- 6 2番で固定を外したフックを折り畳み、引っ掛けていたプラスチックパーツの内側へと入れ込みます。



- 7 5番で引き出した生地についているフックを折り返して、2番で外したフックの位置にはめ込み固定します。
 ※純正シート地を固定していたフックよりカバーのフックの方が大きいいため、完全にはフックがはまりません。



- 8 フックを固定すると図のようになります。



- 10 カバー外側の後ろ側も、固定部材の付いた生地を、生地と一緒にプラスチックパーツの隙間に入れ込み固定します。



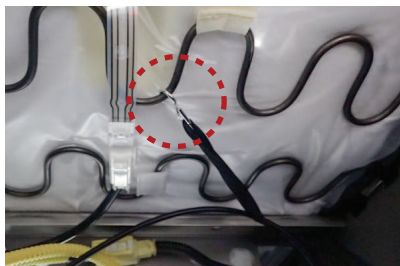
- 11 カバー外側の軸部分にはゴムが付いています。ゴムをシートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。



- 9 カバー外側の固定部材の付いた生地を、生地と一緒にプラスチックパーツの隙間に入れ込み固定します。



- 12 入れ込んだゴムをシートの裏側から引き出します。



- 13 引き出したゴムに付属の金属フックを取り付けます。金属フックをシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 16 フックを下向きにしたまま、シートとプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。入れ込んだ先にシートのフチがあります。フックをシートのフチに引っ掛けて固定します。前後2か所共同様に固定します。



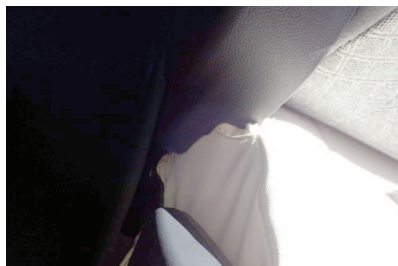
- 14 カバーの内側には図のフックが前後に2か所付いています。



- 17 シート内側の付け根部分です。この位置のカバーに固定部材が付いています。固定部材を生地と一緒に図の点線部分のプラスチックパーツの隙間に入れ込みます。こちらの隙間は大変狭くなっている为生地が裂けたりしないように、作業は慎重に行ってください。



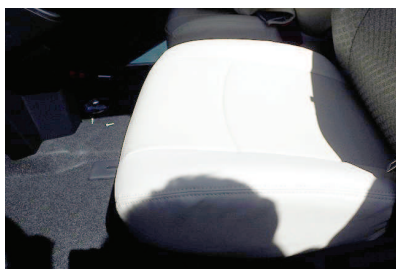
- 15 フックを図のように下向きにします。



- 18 シート内側の付け根部分は図のようになります。



19 カバーの前側にマジックテープのベルトが2本付いています。



22 カバーのラインを整えて、1列目助手席座面の完成です。



20 マジックテープのベルトをシート裏の金属部分に巻き付けて固定します。



21 カバー前側のシート裏は図のようになります。

Step4

…> 1列目助手席背もたれの装着方法



- 1 シート背面のバックボードからコンビニフックを外します。
コンビニフックのキャップを図のように開けます。こちらは指で掴み、軽く引っ張ると開きます。
※シートバックテーブル装備車は4番から確認して下さい。



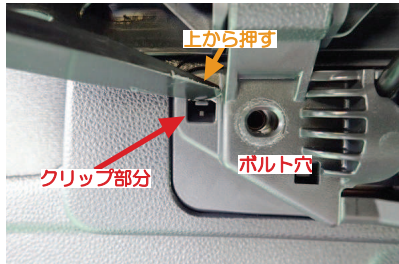
- 2 開いたキャップの内側にボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。
ソケットは10mmを使用します。



- 3 コンビニフックは図のように外れます。
※4番～6番はバックテーブル装備車の説明になります。次の作業は7番から確認して下さい。



- 4 シートバックテーブル装備車はテーブルをシートから外します。
図はテーブルを起こしてテーブルの裏側を写した図です。テーブルの裏側に4本のボルトがあります。ボルトはソケットレンチなどを使用して外します。
ソケットは10mmを使用します。



- 5 4番で外したボルトの両端の横に、図のクリップでテーブルを固定している部分があります。
こちらはヘラなどを使用して上からクリップ部分を押し、テーブルを手前に引くと固定が外れます。作業は片側ずつ行って下さい。



- 6 シートからテーブルが外れました。
外したテーブルは外したままの状態、作業の邪魔にならない場所へ運び出して下さい。



- 7 コンベニフックが付いていた部分の図の枠を外しておきます。こちらは指で軽く引くと外れます。枠を外すとバックボードを固定している上側のツメの位置が見えてきます。



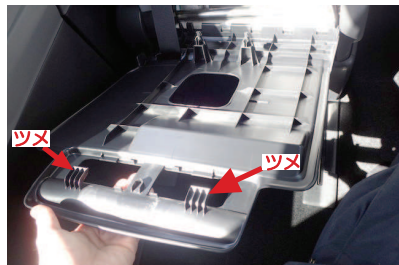
- 8 シート背面のバックボードをシートから外します。まずスライドレバーの下に付いているフックを、フック付近のボードの端を手で掴み手前に引きます。
※図では片手になっていますが、両手で同時に手前に引くようにして下さい。フックの固定は余り固くは無いため、慎重に作業を行って下さい。外した後のフックの形状は12番で確認できます。



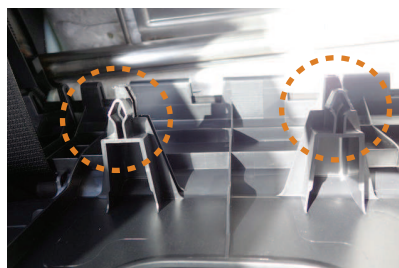
- 9 フックの固定が外れると、スライドレバー周りの隙間からフックが見えます。



- 10 バックボード裏の上側に付いているツメを外します。バックボードをシートに沿わせながら真上に持ち上げます。ツメの位置は7番を確認して下さい。
※図では片手になっていますが、両手でボードの両端を持って作業を行って下さい。



- 11 上側のツメが外れると、バックボードの上側と側面がシートから外れた状態になります。



- 12 8番で外したフック部分です。



- 13 バックボード下側のシート表皮の固定を外します。シート表皮を固定しているツメが挟まっている図の部分へヘラなどを差し込み、開きます。



- 14 13番の部分を隙間を広げながら生地を引くと、図のように固定部材が外れていきます。



- 15 14番のように固定部材の一番端が外れると、外れた生地を引っ張ることで徐々に固定部材は外れていきますが、なるべく13番で広げた部分を図の番号順に徐々にずらしながら広げて、固定部材を外していくようにして下さい。生地を無理に引っ張ると純正シート地が裂けたり、固定部材の縫製糸が切れる恐れがありますので、注意して下さい。



- 16 シートベルトをボードの隙間に通して外します。



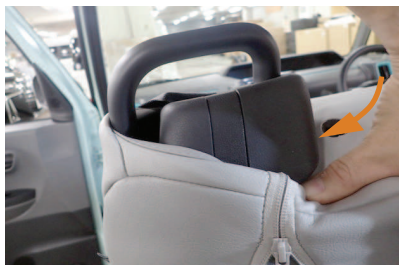
- 17 シートからバックボードが外れました。バックボードは車内に置いておくとして作業の邪魔になり、破損させる恐れもあるので、車外へ運び出しておくようにして下さい。



- 18 カバーを装着していきます。カバー背面のファスナーを完全に開いて、シート肩口のシートベルト周りを包むようにしてかぶせます。



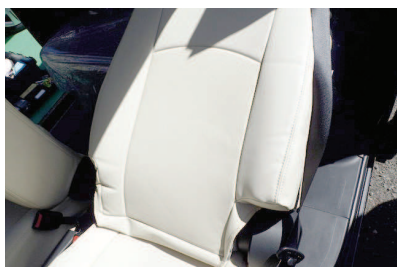
- 19 カバーをゆったりかぶせた状態で、カバー背面のファスナーを半分程閉じます。
 ※カバーをしっかりとかぶせた後では、ファスナーを閉じることが困難になります。またファスナーを完全に閉じてしまっても、この後のシートベルトの台座を取り出す作業が大変になります。



- 20 ファスナーを半分程度閉じた状態で、シートベルトが出ている台座部分をカバーから取り出します。
 まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 21 次に反対側の台座のフチにも生地を入れ込み台座を全て取り出します。



- 22 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。
 ヘッドレストの台座もこの時点で取り出し下さい。



- 23 背もたれと座面の間隙間に生地を入れ込みます。



- 24 入れ込んだ生地をシートの背面から引き出します。



- 25 半分程閉じていたファスナーを全て閉じます。閉じたファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 26 カバー側面の生地をシートに馴染ませながら、シート背面で純正シート地を固定しているフックの上から、カバーのフックを引っ掛けて固定します。



- 27 反対側の側面も同様です。純正シート地を固定しているフックの上から、カバーのフックを引っ掛けて固定します。



- 28 カバー外側の背面下です。こちらは先端に何も固定部材の付いていない生地になりますが、シートの背面側に引っ張り出します。生地はその後シートに戻すプラスチックボードで挟み込み、固定するようになります。



- 29 バックボードを元に戻します。



- 30 24番で引き出した生地を改めてしっかりと引き出して、端に付いているフックの先端を手前に向けます。



- 31 13番から15番で外したシート表皮のフックと同じように、カバーのフックをバックボードの下側に固定していきます。ヘラなどで広げた隙間に30番のカバーのフックを差し込みます。フックの先端が出てくるまでしっかりと差し込んで下さい。



- 32 途中までフックを差し込んだ時点でシートベルトをボードの隙間に通します。



- 33 全てのフックを差し込みバックボードの側面から確認します。



- 34 バックボード上側のツメを固定します。この際、13番から外した純正シート表皮を、シートクッションごと図のように純正シート表皮のフックを固定していた部分より内側に巻き込みます。
※純正シート表皮とシートクッションを内側に巻き込んでいないと、バックボードがシートから浮きやすくなります。



- 35 上側のツメの固定は、図の点線部分の枠からツメの位置を確認しながら作業を行って下さい。



- 36 8番で外したスライドレバー下側のフックを固定します。スライドレバーの下の隙間から、フックの位置が合っているか確認します。



37 フックの位置を意識してボードを押し込み固定します。

※こちらのフックはあまり強固な固定ではないため、シートを可動させているとフックが外れてくる場合があります。その場合は改めてボードを押し込み固定し直して下さい。



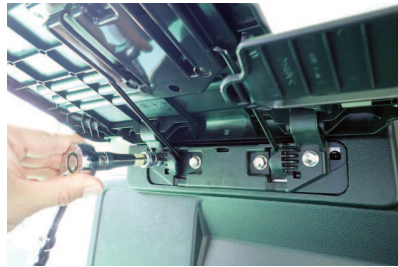
38 プラスチックパーツを元に戻します。ボルトの穴位置がしっかりプラスチックパーツの中心に来ているか確認して下さい。

※少しでも中心からずれている場合は、この後コンビニフックを戻す際にプラスチックパーツが浮いてくる場合があるので、注意して下さい。



39 コンビニフックを元通りに固定します。

※こちらはボルトを締めすぎるとプラスチックパーツが破損する恐れがありますので注意して下さい。



40 シートバックテーブル装備車はテーブルを元通りに固定します。



41 カバーのラインを整えて、1列目助手席背もたれの完成です。



ここからはシートカバーを装着したことでシートベルトの巻き取りが鈍くなった場合の確認方法を説明します。またシートベルトの台座周りの生地がきれいに収まらない場合などにも役立つ作業となります。

カバーの装着に問題が無く、**42番**の確認で問題が無ければ特に確認して頂く必要はありません。

※図は別グレードのものを使用しています。



42 シートカバー装着後、図のようにシートベルトを引っ張り、手を放して問題なくシートベルトが巻き取られるか確認して下さい。シートベルトの巻き取りが明らかに鈍いと感じた場合は、**43番**からの内容を確認して下さい。



この部分が干渉していないか確認する

- 43 始めにシート背面のシートベルトが出ている部分を確認します。カバーのフックが純正シート地のフックより大きいため、生地とシートベルトが干渉する場合があります。しっかり固定していれば干渉しない程度の隙間ができるので、こちらで干渉している場合は、12ページ7番のカバーの固定をやり直して下さい。



- 44 43番の確認でも解消されない場合はシートベルトの台座部分を外して確認します。まずシートベルトの裏側にあるネジを、ドライバを使用して外します。



- 45 次にボルトを隠している目隠しのブラキャップをへらなどを使用して外します。こちらは前と内側に2か所あります。



- 46 2か所ある目隠しのブラキャップを外すと中にそれぞれボルトがあります。ボルトをソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは10mmを使用します。



- 47 2か所ともボルトを外すと、まずシートを可動させる際に挿むアーム部分が図のように外れます。



- 48 台座を持ち上げると完全にシートベルトの台座部分が外れて、台座の内側が確認できます。この内側で入れ込んだ生地などがシートベルトに直接干渉したり、生地が内部の部品を押し付けて、間接的にシートベルトを抑えたりしていると、シートベルトの巻き取りに影響します。台座の内側に生地を入れ込む以上、ある程度は干渉しますが、明らかにシートベルトの巻き取りに影響が出ている場合は、カバーの装着をやり直して下さい。

22P ▶

※カバーの装着をやり直しても改善されない場合は、直ちにカバーの使用を止めて、弊社へご連絡下さい。

Step 5

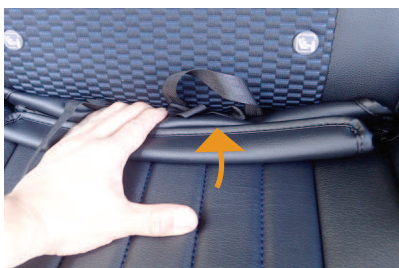
…> 2列目座面の装着方法



- 1 シートの内側からカバーを装着していきます。
運転席側・助手席側のシートを前後にずらした状態で、カバーを隙間に入れ込むようにかぶせていきます。



- 2 シート全体にカバーをかぶせて、シートのラインに合わせます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
生地は端にベルトの付いた生地と、生地の裏側に板状の部材が付いた生地の2枚あります。それぞれ入れてください。



- 4 入れ込んだ2枚の生地をシートの背面側から引き出します。



- 5 カバーの位置を確認します。
シートの付け根部分です。
カバーの加工穴からチャイルドシート固定用のバーが見えていれば、カバーは正しい位置にあります。バーが見えていない場合はカバーの装着を見直して下さい。



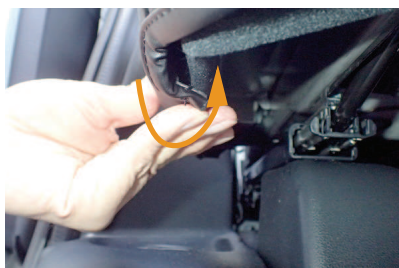
- 6 4番で引き出した生地の端に付いているベルトを、シートの裏から前側へ入れ込みます。



- 7 シートの前側から入れ込んだベルトを引き出します。



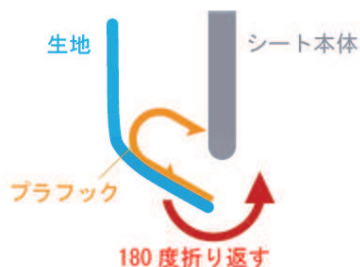
- 8 ベルトはシート前側のカバーに付いているバックルに通して固定します。
バックルの固定方法は9ページ26番を参考して下さい。
※ベルトは必ずスライドレバーの上側に通して固定して下さい。



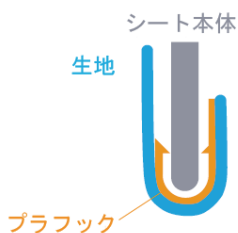
- 9 シートの外側です。
こちらのカバーには生地裏側に大きめのブラックが付いています。フックをシート本体のフチに引っ掛けて固定します。
詳しくは10番から12番のイラストを確認して下さい。



- 10 ブラックの固定方法を分かりやすく説明するためにイラストを使って紹介します。



- 11 ブラックは、生地と共に180度折り返してからシート本体に下から上に引っ掛けるようにします。



- 12 正しく固定すると、このようになります。



- 13 ブラフックを固定すると図のようになります。フックはシートのフチにしっかりとめ込まないとすぐに外れてしまいます。フックを引っ掛けて奥まではめ込むように持ち上げて固定して下さい。また、少々フックの形状が表面の生地に浮かび上がります。こちらは製品の仕様となりますのでご了承下さい。



- 14 シート外側の後ろ側も同様にブラフックを固定します。



- 15 シート外側のプラスチックパーツ部分です。シートとプラスチックパーツの隙間にヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



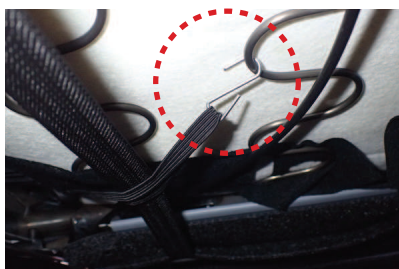
- 16 シート外側の一番後ろ側のカバーには、図のようにゴムが付いています。



- 17 ゴムを生地と一緒にシートの裏へ入れ込みます。



- 18 ゴムをシートの裏から引き出します。



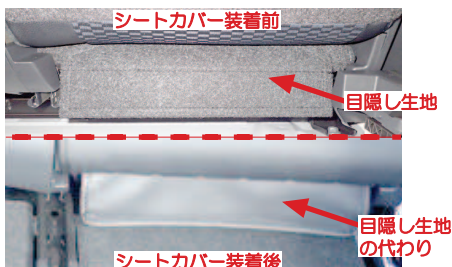
- 19 ゴムに付属の金属フックを取り付けて、シート裏の金属フレームに引っ掛けて固定します。



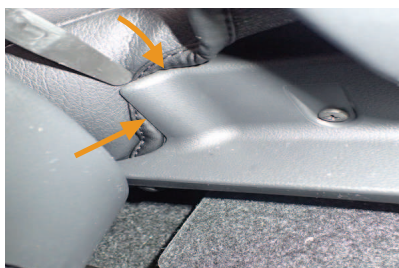
- 22 シート内側の一番後ろ側のカバーには、図のようにゴムが付いています。外側同様ゴムを生地と一緒にシートの裏へ入れ込み固定します。



- 20 シートの内側です。外側同様に前後2箇所あるブラックを固定します。



- 23 シート背面側のシートカバー装着前と装着後の比較図です。
3番で入れ込んだ生地裏に板状の部材が付いた生地は、純正シートにあった、シートの内側を目隠しする為の生地の代わりになります。板状の部材はどこかに固定するわけではありません。生地形状を保つために付けてあります。



- 21 シート内側のプラスチックパーツ部分です。シートとプラスチックパーツの隙間にヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 24 カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 6

…> 2列目背もたれの装着方法



- 1 カバー外側面のファスナーを開けておきます。シートラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 5 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



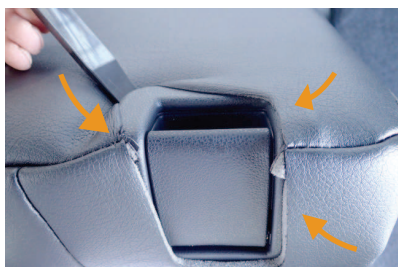
- 3 シート内側の軸部分です。生地を引っ掛けるようにして、シート形状に沿わせてカバーをかぶせます。



- 6 カバー外側面のファスナーを、生地を内へ寄せ合いながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



7 5番で引き出した生地と、カバーの背面下の生地をマジックテープで固定します。



10 シート肩口のリクライニングレバー周りの生地を、ヘラなどを使用してフチに入れ込みます。



8 シート背面のスライドレバー周りの生地をヘラなどを使用してフチに入れ込みます。



11 生地を全て入れ込むと、リクライニングレバー周りは図のようになります。



9 生地を全て入れ込むと、スライドレバーの周りは図のようになります。

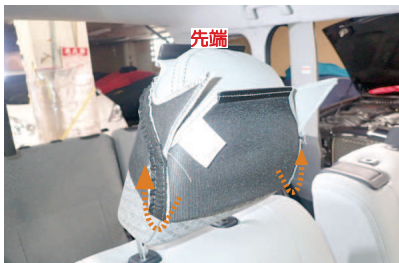


12 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 7

…> ヘッドレストの装着方法

1 列目ヘッドレスト



- 1 カバーを図のように裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前になります。



- 2 カバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を寄せ合いながら、マジックテープを固定します。



- 4 ヘッドレスト裏でブラックを固定します。



- 5 ブラックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6 ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



- 3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏の生地を寄せ合いながら、マジックテープを固定します。

2列目ヘッドレスト



- 1 ヘッドレストの先端にカバーを引っ掛けるようにして、カバーをヘッドレスト全体にかぶせていきます。



- 4 1列目と同様にブラフックを固定します。ブラフックの固定方法は29ページ5番を参考にしてください。ヘッドレストの裏側は図のようになります。



- 2 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 5 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

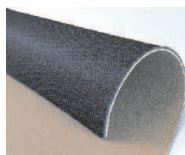


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816